

1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	土地改良耐震対策事業 (国補)	<b>事業箇所</b>	北杜市須玉町下津金	<b>地区名</b>	しもつがね 下津金	<b>事業主体</b>	山梨県
------------	-----------------	-------------	-----------	------------	--------------	-------------	-----

**(1) 事業の概要**

**①課題・背景**  
 松尾沢ため池、和田ため池は北杜市南東部に位置し、水田用水を確保するための重要な農業施設である。  
 しかし、これらのため池は築造から80年以上が経過しており、機能診断の結果、堤体が地震時に所定の安全率を満足しておらず、また堤体の沈下や余裕高不足となっていることが判明した。  
 堤体下流域には人家等があり、ため池堤体が決壊した場合、甚大な被害のおそれがあるとともに、用水の安定的な供給に支障を来すため、早期に耐震化対策等を実施し、住環境の安全、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るものである。

**②整備目標・効果**

主要目標  洪水被害危険度の軽減  
 ・ため池決壊の構造的危険度 69点≥67点※  
 ・ため池決壊に伴う下流域への影響度 14点≥9点※

副次目標  農業用排水能力の向上  
 ・施設老朽度 (使用年数83年) ÷ (耐用年数40年)  
 =2.08≥1.00※  
 ・用排水能力向上率 (計画排水能力15.12m<sup>3</sup>/s) ÷ (現況排水能力13.58m<sup>3</sup>/s) =1.11≥1.0※ (※評価基準値)

副次効果  農地の保全  
 既存施設の崩壊危険性の排除

**(3) 事業の妥当性評価**

**①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)**  妥当  妥当でない

・本地区の整備は、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に位置づけられている国民の生命及び財産を保護するため、防災工事等の集中的かつ計画的な推進に資するものであり、行政が行うべきである。

**②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)**  妥当  妥当でない

・土地改良法施行令第50条第1項1の3により県が事業主体となって行うべきものである。

**③経済妥当性**  妥当  妥当でない

総事業費	500 百万円	工期	R3 ~ R7	基準年	R2
経済効率性	費用	401 百万円	便益	557 百万円	
	事業費用	403 百万円	災害防止効果	559 百万円	
	その他費用	△2 百万円	維持管理費節減効果	△2 百万円	
	B/C	1.38			

費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。

**④事業実施・規模の妥当性**  妥当  妥当でない

・災害に強い施設に改善する上で必要な整備量としている。

**⑤整備手法の有効性**  妥当  妥当でない

・受益面積規模、事業対象工種から、土地改良施設耐震対策事業で対応することが妥当である。

**⑥環境負荷等への配慮**  妥当  妥当でない

・ため池は、生物の多様性の確保をはじめ多面的な機能を有する施設であることから、ため池特別措置法に基づき周辺環境との調和に配慮する。

**⑦事業計画の熟度**  妥当  妥当でない

・早期着工の要望有り

**(2) 整備内容**

**①整備内容** 堤体工 N=2箇所

**②着手年度** 令和3年度                      **③完成見込年度** 令和7年度

**④総事業費** 約500百万円  
 (国費275百万円(5.5/10) 県費170百万円(3.4/10) 市費55百万円(1.1/10))

**⑤年度別の整備内容** (事業費)

令和3年度	測量・地質調査・設計	30 百万円
令和4年度	堤体工	120 百万円
令和5年度	堤体工	180 百万円
令和6年度	堤体工	120 百万円
令和7年度	付帯工	50 百万円

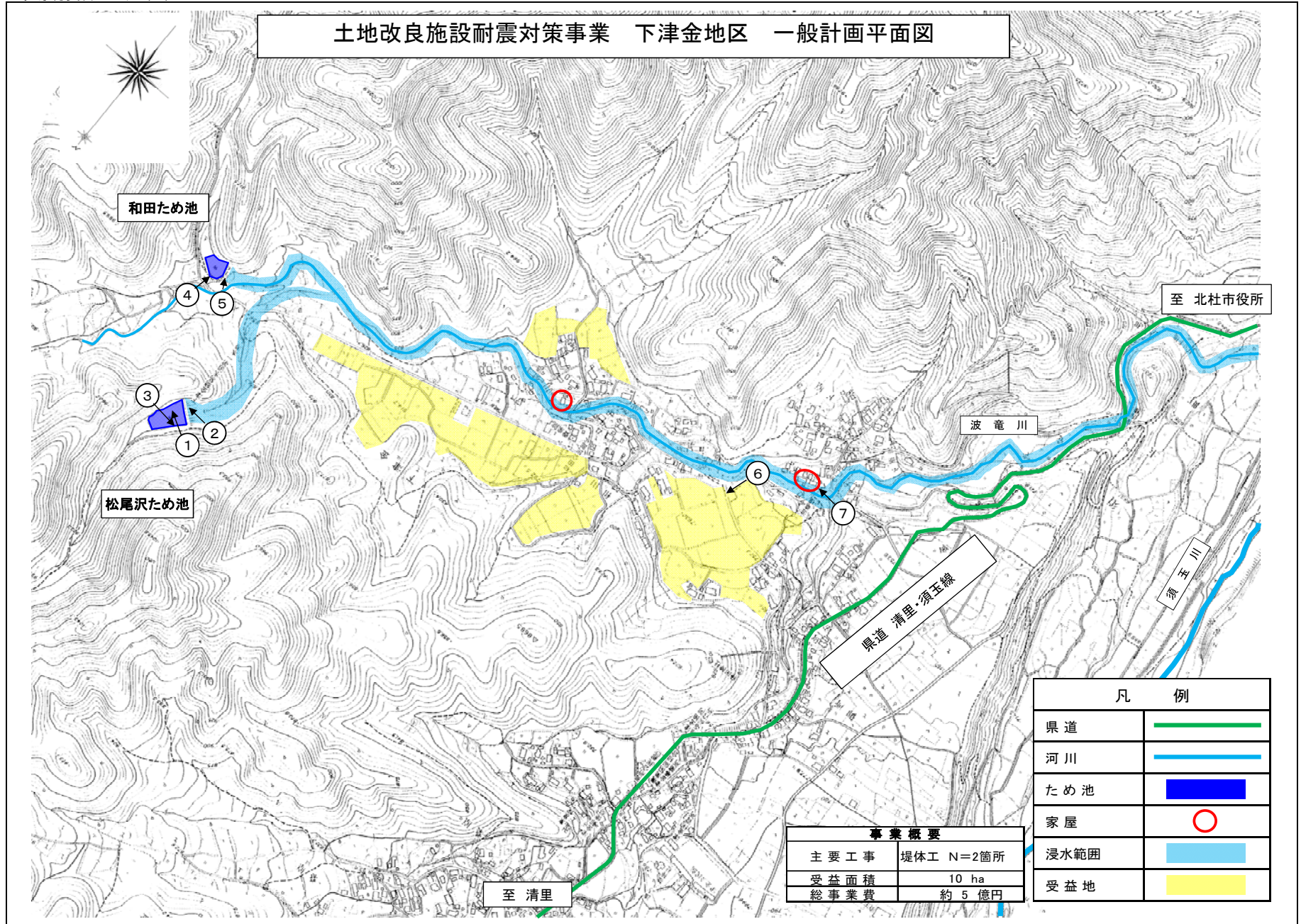
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

**⑥既整備内容・期間・事業費**  
 ・該当なし

**総合評価**

**[貢献度ランク : a]**

**(4) 事業位置図等**





## 2. 添付資料シート(2)



① 松尾沢ため池 全景  
安全率(地震時)  $1.02 \leq 1.20$  (基準値)  
貯水量 18,000m<sup>3</sup>, 堤高 H=15.7m



② 堤体の安定性が確保されておらず地震時に堤体が決壊する危険がある。



③ 洪水吐の破損状況。侵食が進み、堤体にも影響を及ぼしている。



④ 和田ため池 全景  
安全率(地震時)  $1.01 \leq 1.20$  (基準値)  
貯水量 6,000m<sup>3</sup>, 堤高 H=10.4m



⑤ 堤体の安定性が確保されておらず地震時に堤体が決壊する危険がある。



⑥ 受益地の状況



⑦ ため池下流には集落があり、大型地震の際には甚大な被害のおそれがある。